

いずみぎ 議会だより

第126号

2025 令和7年1月25日

12月定例会

もくじ

新年のごあいさつ	2
12月定例会	3
10月臨時会	4
補正予算質疑	4
議会のうごき	4
一般質問	5
出雲崎小学校交流会	12
出雲崎中学校交流会	13
出雲崎高校交流会	14
総務文教常任委員会	15
全員協議会	16
出まえ議会	18
議会最前線	21
行政視察	22
議会サロン	23



新年のごあいさつ

議長 中野 勝 正

町民の皆様には新しい年を迎え、健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

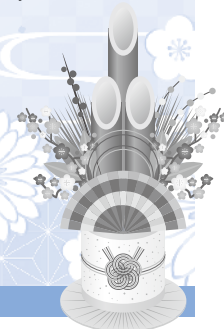
昨年国内、国外とも激動の年でありました。国内では、一月一日石川県能登半島を震源とする大地震、九月の大雨による大被害、国政では、十月に衆議院議員選挙があり、与党が過半数割れましたが自民党総裁の石破茂総裁が誕生しました。政局のかじ取りをしっかりとやっていただき、私たち国民が今以上に幸せに暮らしていけるように願っております。

国外においては、いまだ戦争が続いている所があり、胸が痛みます。当町においては、昨年、二月に町長選挙と町議の補選の選挙があり、町長には仙海直樹町長が当選され、町議の補選では無投票で二名の方が当選されました。

議会では、五月に町議会議員の選挙があります。この選挙は、二元代表制における町の大事な選挙です。

私は、選挙があつてこそ町の活性化に結びつくと考えます。男女や、年齢にとられず、自分の考え方をもち、町の活性化や地域をよくしたいと思う方、町のために汗をかきたいと思う方ぜひ立候補していただきたいと思ひます。

結びに、私も議会も町執行部と一緒に町民の皆様の福祉向上に取り組みますので、本年も引き続き、議会にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



12月定例会

議案15件を可決・承認

会期 12月10日～13日（4日間）

可決した補正予算

会 計		補正額	補正後の予算額
令和6年度一般会計（第8号）		▲1,443万円	37億4,931万円
令和6年度一般会計（第9号）		1,531万円	37億6,463万円
特別会計	国民健康保険事業（第2号）	5,304万円	5億4,440万円
	国民健康保険事業（第3号）	20万円	5億5,460万円
	介護保険事業（第2号）	316万円	6億9,519万円
	介護保険事業（第3号）	51万円	6億9,570万円
会 公 計 営 企 業	簡易水道事業（第2号）	▲111万円	2億8,961万円
	簡易水道事業（第3号）	15万円	2億8,977万円
	下水道事業（第1号）	47万円	4億8,796万円

一般会計補正予算（第8号）

主な歳入	主な歳出
- 地方交付税普通分追加 …… 1億8,597万円 - 子どものための教育・保育給付費負担金追加 …… 379万円 5年災中学校施設災害復旧事業負担金 …… 176万円 - 防災・安全交付金減 …… ▲500万円 - 道路メンテナンス事業費補助金減 …… ▲115万円 - 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 …… 1,334万円 - 財政調整基金繰入減 …… ▲2億695万円 - 多世代交流館事業債追加 …… 210万円 - 道路橋りょう整備事業債減 …… ▲1,020万円	- ガバメントクラウド利用料減 …… ▲469万円 - 国民健康保険事業特別会計繰出金減 …… ▲247万円 - 小木之城保育園保育実施委託料追加 …… 623万円 - 町幸せを運ぶコウノトリ祝金追加 …… 170万円 - 町鳥獣被害防止対策協議会負担金追加 …… 101万円 - 町主食用米販売継続応援事業補助金減 …… ▲975万円 - 小木ノ城休憩所トイレ改修工事 …… 154万円 - 町道物件補償料減 …… ▲130万円 - 道路測量設計監理業務委託料減 …… ▲500万円 - 道路新設改良舗装工事減 …… ▲1,250万円 - 出小特別教室空調改修工事追加 …… 291万円 - ふるさと納税サイト使用料追加 …… 121万円
簡易水洗トイレに改修	寄付額の増加によるもの

一般会計補正予算（第9号）

主な歳入	主な歳出
財政調整基金繰入追加 …… 1,533万円	一般職員給追加 …… 537万円

陳情

陳情第10号

年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める陳情

審査
結果

採 択

可決された条例の一部改正（主なもの） ※議案第85・86・87号、発委第5号はいずれも人事院勧告によるもの

- 議案第78号 ■出雲崎町保健福祉総合センターふれあいの里設置及び管理に関する条例の一部改正
- 議案第85号 ■町職員の給与に関する条例の一部改正
- 議案第86号 ■町特別職で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 議案第87号 ■町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 発委第5号 ■町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人 事
案 件

人権擁護委員の任命（任期 令和7年4月1日～令和10年3月31日までの3年間）

ほそ やま ひろし
細 山 宏 氏（勝見）

1

いし かわ 豊 議員



質問項目

1. 庁舎増設事業のその後の経過について

🔍 詳細は6ページ

2

み わ ただし 三輪 正 議員



質問項目

1. 防災と減災に事前対策の強化を
2. 「仮称 観光推進会議」創設を

🔍 詳細は7ページ

3

なか だ たかのぶ 中田孝信 議員



質問項目

1. eスポーツによる地域振興について
2. イラストレーター起用によるふるさと納税について
3. 町内で結婚写真等を撮影するカップルへの支援について

🔍 詳細は8ページ



4

こばやしれい こ 小林玲子 議員



質問項目

1. 空き家解体後の固定資産税について
2. 地籍調査後の課税について

🔍 詳細は9ページ

5

たか はし そくえん 高橋速円 議員



質問項目

1. 「総合戦略」について

🔍 詳細は10ページ

6

しま あす か 島 明日香 議員



質問項目

1. 安全にスポーツを楽しめる空間づくりについて

🔍 詳細は11ページ

※一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています。

出雲崎町議会
YouTube チャンネル

12月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます➡



庁舎増設事業 その後の経過は？



石川 豊 議員

町長

防災・医療・少子高齢化・ 農漁業等への支援を優先する

庁舎増設事業見直しの その後の経過を伺う

石川 一昨年11月全員協

議会において、庁舎増設事業の説明があり、その後昨年2月の全員協議会において、町長行政報告の中で本事業については、様々な観点から一度仕切り直したい旨、発言がありました。行政報告のため質問できませんでした。

今回改めて、「様々な観点から一度仕切り直したい」という理由は何か、更に今後本事業の計画・予定の有無はどうか。

町長の所見を伺う。

昨年1月の能登半島地震により防災・津波対策を優先順位と考えた

町長 町の5年後、10年後に必要なハードソフト両

部分はどのようなものがあるか、整理していたが、昨年1月に発生した能登半島地震を受け、防災・津波対策

が優先ではないかと考えて、庁舎増設については仕切り直しをするに至った。

また、庁舎増設にあたってのスペース的な問題、場所的な問題、金銭的な問題、更に昭和46年の建設で既に53年が経過している建物に増設することが、はたしていいのかどうか考えた。

山積する町の課題を考え、たとき、医療対策への投資、少子高齢化対策へのさらなる投資、天領の里周辺の整備、基幹産業である農業・漁業に対する支援等優先項目があり、今のところ庁舎増設の考えはない。

分庁舎化も 一つの選択肢ではないか

石川 様々な観点から一度仕切り直したいと考えて

は理解するが、大きな理由の一つに庁舎の手狭問題がある。

分庁舎化という考えはどうか町長の所見を伺う。

分庁舎化等について 考えを整理していく

町長 事業の優先順位を

検討しつつ、分庁舎化等について考えを整理していく。

石川 手狭なため2階通路（廊下）にロッカー等置いてあり、人が行き交うことも困難であり、また地震

等の発生で通路を塞ぎ、避難する職員や来庁者を危険にさらすことがないよう、2階通路の確保を早急に考慮して検討していただくよう要望する。



人が行き交うことも困難な2階廊下の状態



三輪 正 議員

防災と減災に 事前対策の強化を

町長

「災害時協力井戸」に 登録を取組む

三輪 大規模災害における生活用水（トイレ、洗濯、風呂）の確保のため「井戸水」利用を、火災時には池、用水地の所有者等と事前に町と登録するなど備えるべきではないか。

町長 大規模災害時、生活用水の確保は大事だ。町は井戸の全体的に把握していないが今後、取組んでいきたい。

三輪 山火事など大規模火災の消防ヘリの訓練が必要である。水の確保など問題が多い。

7年度に県と

総合防災訓練実施

町長 県防災ヘリコプター1機を運航し、県内各消防本部などと連携し訓練を実施している。7年度には当町会場に総合防災訓練を実施する予定。

三輪 人員配置、備蓄品、機材など避難所運営に問題はないか。

町長 避難所ごとに職員を割り当て、災害時に早期に開設できる体制を取っている。

施設の指定管理者は協定で災害発生時には迅速に対応が取られるようにお願いしてある。備蓄品は町内6カ所と役場庁舎に分けて保管してある。

「仮称 観光推進会議」

創設し

観光資源を生かした

通年観光を

三輪 今年は「佐渡島の金山」が世界文化遺産登録になり「金銀の荷揚げ地」として出雲崎にとって観光推進に生かすチャンスである。11月17日の「歴史ガイド」に参加して、出雲崎の歴史、観光資源の多さに驚いた。これら資源を結びつけて、通年観光の推進を強化

すべきと考える。また産業観光課、教育委員会、観光施設の連携強化によって、観光客の増加と満足を進めるため「仮称 観光推進会議」を創設すべきと考えるが町の考えを伺う。

町長 11月の「歴史ガイド」に私も参加した。観光ガイドの皆さんによって、歴史と観光資源を結ぶ説明

に勉強になった。受入れ体制の整備をはかり通年観光に取組んでいく。

観光推進会議創設の要望だが、月1回の庁議や必要に応じて各種会議で常に情報交換をしている。

会議の創設は考えていないが、横の連携を強化して、観光の振興を推進していく。



用水池を利用した消火訓練

①町内におけるeスポーツ振興について ②新たなふるさと納税返礼品について ③町内で結婚パーティなどを開く場合の補助金について



中田 孝信 議員

町長

- ①導入した自治体への確認などをし、検討したい
- ②金額設定が不透明な点などがあるため、現状では不可
- ③町としては不可。観光協会の方からアプローチするなどしてほしい

町内におけるeスポーツ振興について

中田 全世界的に急成長しているゲーム機などを利用したeスポーツがあるが、健康増進や世代間交流の促進を狙い、町内において推進していくつもりはないか。

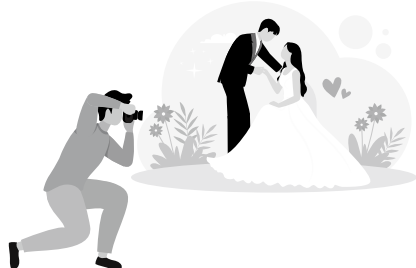
町長 町第三次出雲崎町生涯学習計画推進計画の中に具体的にeスポーツに関する計画はないが、世界的に急成長していること、手指を使うことで脳を刺激し、認知症予防につながると認識している。

eスポーツの可能性や地域社会への影響については関係者や専門家、導入した自治体への確認、意見交換等をし、検討を進めていきたい。また、スケートボードなどのアーバンスポーツについても併せて検討していきたい。

新たなふるさと納税返礼品について

中田 20代〜30代の世代をターゲットにイラストレーターが描いたNFTアートを返礼品として導入している地方自治体がある。本町においても返礼品として追加することは可能か。

町長 現在、三ツ目株式会社と共に地場産品を利用した返礼品の開発を進めているところであり、金額設定が不透明な部分があるイラストを返礼品に加えることは考えていない。



町内で結婚パーティなどを行う新婚への補助金について

中田 新婚向けに移住促進の説明をし、説明を受けたことの対価として、町内で結婚パーティを開く、夕風の橋で新婚写真を撮影する等のイベントへの補助金を出すことは可能か。

町長 町では移住・定住に向けた問い合わせがあった場合に対面・電話・郵送などで対応しており、同時に町公式サイトからも広く発信しているところである。

パーティや写真撮影等への補助金を出すことは移住・定住の支援策として相応しいとは思えないため、新たな制度として検討することは考えていない。町としてではなく、観光協会の方から事業を進めていくなど別角度からのアプローチすることも、また一つの方法ではないかと考えている。



eスポーツができるように設置されたパソコン(寺泊にて)



小林 玲子 議員

町長 現在、当町の空屋の総数は515戸である。空き家率は25%となる。空き家対策については、空き家情報バンクへの登録や空家等再生活用支援事業補助金制度を利用していた

空き家解体後の固定資産税について

町長

固定資産税は町にとって 基幹税目である

空き家解体後の 固定資産税について

小林 過疎化や高齢化が進み、空き家が増えている。中には持ち主が適切な管理ができず老朽化し危険な空き家になっている建物も見受けられる。空き家を解体して更地にする住宅用地特例の適用がなくなり固定資産税が高くなる。町では空き家を再利用するための支援事業や特定空屋等の解体支援事業はあるが、空き家や特定空家解体後の固定資産税が増える場合の町独自の減免等について検討されているか伺う。

だけでなく、空き家の利活用の促進に務めている。

町長 当町としては、固定資産税が町にとって基幹税目であるという点などを踏まえ、空き家の解体により固定資産税の軽減対象とならなくなる。空き家の解体の妨げになっているかどうかという点、そして建物解体後に空き家の管理が適切にされるかなども考慮しながら引き続き情報収集に務める。

小林 空き家解体等の支援金があるが、解体後の税金対策に至るまでの相談等は担当課で今まで受付けたことがあるのか。

担当課長 空き家を解体した際に土地の税金については相談があれば担当課で回答しているが、現在まで、空き家を管理している方から解体後の具体的な相談をいただいたことはない。

地籍調査後の課税について

町長

登記が完了した順に課税面積も変動する

地籍調査後の課税に ついて

小林 当町でも地籍調査が行われており、全地域の調査の終了時期は数十年後と聞いている。地籍調査が行われると土地の正確な位置や境界、土地の境界線をめぐるトラブルを防止することができるとのメリットもあるが、土地の面積が増え、税負担が増えることもある。地籍調査の終了時期の違いにより、税負担に不公平が生じないための検討が必要ではないか伺う。

町長 地籍調査は貴重な土地、財産を守るために実施している。

固定資産税の課税面積は、原則として登記簿に記載されている面積によることとしている。調査後の正確な面積が翌年度以降の課税に反映し、税額が変動することがあり得ると説明会でも説明している。

小林 地籍調査後の税負担について、一般的に調査後と調査前でどのくらいの差があるのか確認しているか。

町長 山や宅地によって状況によって様々である。

小林 当他市町村では、面積が減った場合は調査後のデータ、面積が増えた場合は調査前のデータで課税すると課税の例外措置をとる例外がある。当町も今後、検討していく必要があるのではないかと。

町長 既に地籍調査が済んでいる地域もある。正確な面積で徴収しているので例外措置はむしろ少ない。



第2期「総合戦略」を どう総括するのか？



高橋 速円 議員

町長

コロナ渦でも 一定の成果は出せた

「まち・ひと・しごと
創生総合戦略」をどう
総括するのか？

高橋 今年度で終了する
第2期総合戦略は当初約30
の事業があった。どう総括
する？

一定の成果があった

町長 子育てや定住支援
の実施で転入超過で推移
し、一定の成果は出せた。

マンホールの蓋のデザイン、 ご存じか？

高橋 蓋には5つ、荒
波、紙風船、おけさ、石油
槽、夕日があしらわれてい
る。獅子舞いの地区もある。
特に夕日は、佐渡が正面
にあつて、右に弥彦山が見
え、そこに夕日が沈む、こ
れは出雲崎にしかないオン
リーワンだ！
要は出雲崎の魅力をどう
創りあげるかだ。
ほかに出雲崎弁や出雲崎
大祭がある。
総合戦略に関わる事業を



課題の解決に向けた検討が 必要だ

町長 限られた財源の中
でも目標達成のため事業を
展開してきた。少子化はま
すます厳しいし担い手不足
による後継者問題、医療、
教育問題など抱えている課
題解決に向けた施策を検討
しなければならない。

拡げるのではなく深掘りし
特化できないか。

結果がともなうPR！ できていない！

町長

情報発信は、もうちょっと工夫したい



結果がでないから きびしい声になる

町長 確かにいま情報提
供が不足していると指摘さ
れている。LINE、YO
U TUBE、Xやインス
タグラムなどで町の情報発
信に努めている。結果がつ
いてこないときびしい。
もうちょっと工夫をしな
ければ駄目だと考えている。

高橋 総合戦略で各課が
いろいろ取組んでいること
は承知している。しかし成
果が伴わないと評価は低く
なる。どうしたら成果がで
るか。
情報発信のあり方が問題
なのか。

町民の声はきびしい



島 明日香 議員

自由にボールが使える広場を！

町長 可能な限り改善する

多目的運動場の整備を

島 「ボールを使っても安全で、周囲から苦情を言わない場所です。自由にしたい。」町の児童や保護者から強い要望です。さらにのおひさまルームで遊びたいときは、4、5、6年生は利用申込書を提出し、緊急連絡先を登録しておけば、保護者の同伴なしでも利用できます。多目的運動場も同じようなルールを設けて良いのではないかと。

利用方法や改善について
検討

町長 ボール遊びに特化した日を設けたり、中央公民館の駐車場を短時間のボール遊びができるスペースとして開放することも考えている。



多目的運動場

広い緑地を新設または既存の広場の整備を

島 良寛牛乳の製造工場跡地に新設、または児童遊園の環境や使用のきまりを整備、さらには野球場や中学校のグラウンド上などを整備する考えについて伺う。

保護者の気持ちは十分に理解している

町長 地域のスポーツ環境を充実するために重要な件と認識している。しかし、既存施設の維持管理や新しい用地確保が難しい。整備したら使える場所については話し合っていないが、川西児童遊園については、新年度予算確保に努めており、整備をしたいと考えている。公園の看板表記については、どういう形でルールを設定できるか、担当と詰めて検討する。

屋内でも硬いボールが使える場所の確保を

島 「町民体育館では硬いボールを使えないし、

天気が悪くても屋内で野球の練習ができる場所があると嬉しい。」小学生との意見交換で聞いた。そのような場所を確保する考えはあるか。



サッカー教室のこどもたち

屋内環境が整っていない

町長 屋内では予想外のリスクを引き起こすこともあり、町民体育館は、床や壁が専用の素材でないため使用に耐えられない可能性がある。コート陣が大勢配置できたり、ボールに工夫をして使用を許可している団体もあるが、屋内での利用を控えていただいているのが現状である。他の場所については、考える時間がほしい。

町のスポーツ振興に向けた今後の取組は

島 既存施設を有効活用し、こどもから高齢者、

障がいのある方、全ての方が安全にそして一緒にスポーツを楽しめる場の整備と工夫を。

スポーツ活動の質向上を図る

教育長 既存の事業や施設の有効活用、水泳教室、スポーツチャレンジ教室のバレーボール、ダンス講座のように運動種目とこどもたちをつなぐこと、こども同士をつなぎ自由に主体的に遊べる仕組みを整えることも大事だと考えている。

引続き強く要望する

島 町民の方々のお話を聞く中で、町のこどもたちが自由に遊べるために考えてくださっている方が多く、嬉しく思った。送迎しなくても、近所の公園や広場でキャッチボールやリフティングが自由にできて、地域で温かく見守り育てることができたら、こどもたちの町への愛着度は増すと思う。暖かい季節に、また元気なこどもたちの声が聞けるよう、強く要望する。

これからの社会を担う若い世代との交流

出雲崎中学校 3年生 町づくり提案発表会 11月19日

出雲崎町のよりよい未来を提案する



出雲崎中学校3年生の皆さんから、総合的な学習の成果発表として、町議会議員が「町づくり提案発表会」にお招きをいただきました。

総合学習の集大成として、しっかりした情報の下調べに基づき、実現するための課題に向き合った提案の数々でした。教育目標達成の「豊かな心、たくましい実践」がここにも活きていると感じました。

第1.2.3グループ／空家対策 第4グループ／少子化対策
第5グループ／高齢化対策 第6グループ／担い手不足解消

◆議員さんが出雲崎の現状と課題をよくつかんでいて、自分たちの提案の足りないところに気づくことができた。話し方を真似したいと思った。

◆私たちが思い浮かべられないようなアイデアがあって、実現したら面白いと思った。

◆真剣に聞いてくださって話やすく、嬉しかった。実際にインスタに載っているきれいな出雲崎の風景を見せてもらい、こんな綺麗な場所があると分かった。

◆私たちの提案の良いところも改善するところも教えてくださった。多方面からの意見で自分の考えが広がった。中学生が協力できそうなことがあったら、ぜひやりたい。



◆議会でも提案すると言われたので、期待したい。

中学生の感想

◆海外労働者の参入について、「宗教」が課題になると聞き、改めて文化の違いを理解することの難しさを認識した。

◆自分たちの意見を受け入れてくださって嬉しかった。関係人口が増えるために、私たちがアピールすると良いと言われたので、機会があればやってみたい。

◆5W1Hの考え方を教えてくださり、自分たちは農業を行なうことだけを考えていたと気づいた。

◆今まで考えてきたものを認めてもらって嬉しかった。交通手段が少ない本数のバスしかなく、今回の提案が実現されたら嬉しい。



私たち議員にとっても大変参考になる、有意義な提案発表会でした。中学生の皆さん、ありがとうございました。

出雲崎小学校6年生との交流会 11月12日

出雲崎小学校6年生の皆さんと議会で意見交換を行ないました。6年生は、この日のためにたくさん調べて勉強をしてきてくれました。町の未来を担う子どもたちの堂々とした意見発表を、とても頼もしく感じました。

自分の要望を直接伝えられて、貴重な体験になった。

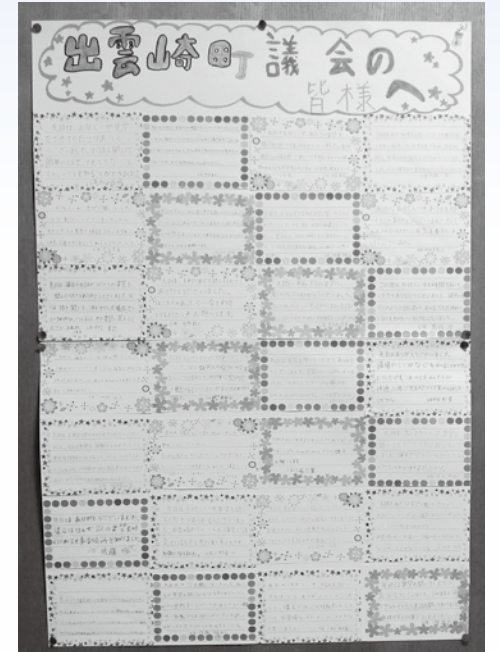
私たちの意見や要望を聞いてもらい、嬉しかった。

ぼくたちの「あったらいいな」を実現して欲しい。

コンビニについては、いつも買う方なので売る方の事を考えていなかった。勉強になった。

議会の仕組みを知ることができて良かった。私たちが快適に過ごせる町づくりを頑張りたい。

土地、人、お金の大切さを学んだ。



後日、感想を添えてお手紙をいただきました。



出雲崎高校生との交流会

**11月
15日**

県立出雲崎高校の生徒さんが、町議会を訪問し交流会を行ないました。

始めに議会の仕組みや定例会の一連の流れ等についてパワーポイントを見ながら聞いていただき、その後に意見交換を行ないました。

議員一人一人に全員への質問では、「議員になって1年目はどのような目標を持って仕事をしたか?」「議員としての立場で大切にしていることは何か?」など、高校生の皆さんから真っ直ぐに問いかけられ、議員としての自分を振り返り、襟を正す機会となりました。

高校生の皆さんに 聞きました

出雲崎町の魅力は？

- ◆出雲崎町に通うようになって、地域の皆さんがとても優しいと感じている。登下校の際も挨拶を返してもらえて嬉しい。見守ってくれていると感じる。
- ◆出雲崎駅を利用する方が、出雲崎高校の掲示板を見ていてくれて嬉しい。
- ◆自然が豊かで、海も空気もきれいなところに魅力を感じる。

地元に残るために必要とを感じるものは？

- ◆地元の魅力、良いところを積極的にアピールする。
- ◆商業施設や娯楽施設が駅前にあると良い。住民の意見を聞いて、若者が住みやすい町になると良い。

若者が選挙に積極的に参加するためには どうしたら良いか？

- ◆図書カードやラーメン無料券などがあると嬉しい。
- ◆選挙の大切さがわかるポスターや手紙などで若者に向けたメッセージを発信。
- ◆候補者の意見を聞く機会がないので、学校で演説をするのも良い。SNSを活用すると情報が入りやすいと思う。



交流会終了後、代表の方にインタビューをさせていただきました。

「意見交換をして、議員の皆さんの印象が変わりました。」

「選挙権を持つ年齢になったけれど、今までは興味が持てなかった。でも、次回の選挙は皆さんの話をよく聞いて、投票に行きます。」と嬉しいお話が聞けました。

町の未来を担う若い人たちに、大きく期待したいと思います。



総務文教常任委員会視察報告

総務文教常任委員長 高 桑 佳 子

総務文教常任委員会では、11月18日に出雲崎小学校と出雲崎中学校を訪問し現地視察を行なった。

説明員として曾根教育長、教育課長の出席を得て、各校で学校長から学校経営方針と児童生徒の様子等について説明を受け、意見交換の後に施設及び授業見学をした。

出雲崎小学校

「自立と共生」を基軸とした教育目標達成のため、重点目標に、自分を大切にし、他者を大切にして自尊感情を育てるインクルーシブ教育を基盤とし、社会の多様な変化に対応し、子どもたちが将来生きていくための大切な力を養うとしている。

達成のために豊かな体験の場を設定し、情報の発信を積極的に進め、開かれた学校として保護者や地域住民を巻き込みながら地域ぐるみで子どもたちを見守っていく姿勢に大変好感を覚えた。

また、教職員の働き方についても、年休が取りやすい環境作りをし、生活と仕事のバランスを保つよう配慮を行っていた。

校内の見学では、今年度予算執行されたエアコン設置などの説明を受けた。ほとんど

の教室に町加配の教育補助員・介助員が配置されており、町派遣スクールカウンセラー、町派遣特別支援コーディネーターとの連携、そして子育て支援「きらり」の存在も大変大きく、個に応じた支援が可能な人的配慮について、町に対して感謝があった。

学校施設見学で改修改善の必要があると思われた点は、①給食室の配電に問題があり、ブレーカー落ちがある。

原因調査済だが、校舎が古く配電が複雑なため、難しい。頻発するようであれば方策が必要と考える。また、給食室の壁に剥がれがみられ、異物混入のリスク回避のためにも改善が望まれる。

②体育館等数カ所の雨漏りがあり、業者の調査でも特定できない。再発した場合には、再調査が必要と思われる。

出雲崎中学校

③ほなみが丘については、住民ボランティアの方々が整備されているが、ボランティアでまかないきれない伐採や倒木処理、安全ロープの設置などが今後必要になると思われる。

また、急を要するものではないが、コロナウィルス対応で整備した手洗い用自動水栓に破損が多くみられ、応急処置で使用できているが、将来、修繕の必要が出てくると思われる。

小学校と同様、人と人とのつながりを大切に、人と関わる活動を積極的に取り入れている。

創立50周年を機に、出雲崎に根付く「心耕」の精神こそが学校教育目標の「たくましい実践」を通して「豊かな心」を醸成するものとして、自律・慈愛・挑戦を合い言葉に取組んでいる。

学力面では英語の学力に課題があるものの、公設学習塾の英検コース設置や家庭学習の増加など改善が見られる。また小学校と同様に、教育補助員・介助員の手厚い配置で

T・Tや少人数での個別の支援が可能とのことだった。町から環境整備に細かく配慮があり、感謝の声がきかれた。

ただ近年、修学旅行や卒業アルバム製作については、旅行代金の高騰や生徒の人数が少なくなってきたことで、保護者負担が目に見えて大きくなっているとの苦悩が聞かれ、出雲崎町で義務教育最後の節目の年となる生徒・保護者に対し、可能であれば何らかの支援策が考えられるべきではないかと感じた。

今後も学校現場や行政と協力しながら、また地域の皆さまとともに、出雲崎の子どもたちの教育環境の整備・改善にさらに努めていきたい。



中学校意見交換



小学校意見交換

全員協議会 10月～12月開催分

全員協議会は議案の審査又は議会の運営に関し、協議または調整を行うための場です。行政内容あるいは、提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載しています。

小木ノ城休憩所トイレ

高桑議員 来シーズンのハナモソの時期に間に合うよう、整備を急ぐべきと思うが、進捗状況を伺う。

産業観光課長 休憩所には電気は通っているが水道がないこと、町指定文化財であることから、基本的に掘削ができない。これらの条件をクリアし、設置する電気や汚物の処理などに十分な検討が必要な場所である。今年度中の予算確保、改善に向けて改めて検討を進め調整する。



屋外こども広場

屋外こども広場 「すまいるパーク」

冬期間の活用

小林議員 開放時期が4月から11月とあるが、今後の利用増加、近隣市町村への周知も含め、冬期間のイベントや施設開放について伺う。

こども未来至長

広場は法面が多く存在し、降雪と雪解け時期を考慮し、遊具使用時の安全を確保するための開放時期となっている。さらりのクリスマスパーティーと合わせて屋外イベントができるか検討し、様々な媒体を通じ積極的に周知を図る。

公の施設指定管理者 (越後出雲崎天領の里)の選定

産業観光課長 株式会社イドムより応募があり、プロポーザル

審査を実施した。

運営ビジョンは、通過型から町内循環型の道の駅へ移行し、町の観光・歴史・文化を発信する。町や町内企業、商店とのコラボレーションによる循環効果の創出として、体験型商品の開発や近隣観光施設との連携、地元仕入れや地産地消への取組を推進する。施設運営業務として、コンシエルジュ機能の新設、物産センター、レストランでの出雲崎特産品、農家と協力した旬の野菜の販売と海産物を含む食材の提供、春夏秋冬別に旬の野菜と組み合わせたイベントを開催する。「物産館」及び「食事・喫茶処陣や」の営業時間を、5月～9月は「日の入り時間＋30分」キャンペーンを実施し、日本一の夕日アピールする。

副町長

町への納付率は1%とし、提示されたサービスが実現可能かを判断した。納付率の変更は可能だが、まずは、天領の里全体の来場を増やし今以上のサービスを目指してほしい。

加藤議員 現従業員で対応するのか、教育方法についても伺う。

高桑議員・中田議員 コンシエルジュ機能の具体的な内容は。

三輪議員 時代館と石油記念館についての提案はあったか。

小林議員 町内企業等とのコラボレーションの内容を伺う。

産業観光課長 従業員は希望があればそのまま採用し、サービスの質をあげるために数年を通して研修をしていく。

町の観光・歴史・文化を説明したり町の飲食店の紹介をし、町内循環型の滞在の魅力をおもてなしの心をもつてアピールする。町観光ガイドの知識も必須と考えている。

佐渡金山の世界文化遺産登録が決定したことに焦点を当て、時代館や石油記念館でそれに関連したイベントを開催する提案があった。

町内企業とのコラボレーションについて具体的内容はまだない。

いが、町の物産業を積極的に取扱う内容であった。

高橋議員 提示された内容がきれいすぎて実現性を疑う。高望みせずに、町民にとっての最優先課題を明確に伝えるべきではないか。

副町長 地元の産品を出し、地元に入り込むことは約束された。最初の段階は、会社の上層部が常駐して陣頭指揮を執る。

自助共助、ハラスメント

高橋議員

災害発生直後から行政が機能するまでの間、町民が自発的な行動をとれるよう訓練の仕方を詰める必要がある。特にトイレや食料の問題が大きいと思うが、町の認識を伺う。

総務課長

自助・共助の理念を具体的に啓発していくことは、今後の防災、減災の活動を促進していく上で重要だと認識して

いる。避難訓練や防災学習などで重要性を繰り返し伝え、広報紙などで防災意識を高めたい。

高橋議員 町政や議会の中、行政と議会の関係、住民と行政や住民と議会の中で迷惑行為と思わざるを得ない事象がある。今いろいろハラスメントがあるが、「出雲崎はハラスメントのない町」と謳えないか。

総務課長 ハラスメントの防止等に関して単独条例を制定している自治体は、67団体、68条例あり、その内8割は議会に関する条例である。制定済みの自治体の中には、職員や議員に対してハラスメントの実態アンケートや、問題が表面化したことにより条例制定に至ったところもある。当町でも今後そのような事案が発生した場合は、条例制定について検討したい。

令和7年度からの 保健福祉総合センター ふれあいの里の利用計画

保健福祉課長 デイサービス部門においては、介護予防に資する事業、保健福祉センターにお

いては、現行の事業を継続実施する。ふれあいの里は、新年度から施設全体を総合的に管理運営する。

ふれあいの湯の基本利用料金の改定については、町内の小学生から65歳未満が400円、65歳以上が300円、町外が一律500円、小学生未満は無料とする。料金改定を提案するにあたり、住民サービス向上、施設機能強化やメンバーズカードの発行による減免など新年度予算に向けて検討を進める。

島議員 浴室の基本料金値上げは理解できるが、年齢区分をもう少し細かくできないか。

加藤議員 期間限定でも浴室利用時間を延長できないか。

保健福祉課長 現指定管理者と幾度も検討し、近隣類似施設とのバランスとオープン時のものを基本とした検討結果である。新年度の7月、8月の毎週金曜日と土曜日、計18回は19時まで延長する方向で協議を進める。

高桑議員 デイサービス廃止後の利用計画について、介護予防事業の利用者の送迎はあるか。

保健福祉課長 基本的には、現サービスの質を落とさない方向で、送迎を含めて細部を詰めている。

農業法人にかかる 園芸品目協議会の取組状況

産業観光課長 当町の農業で、栽培が比較的容易で収益性があり、米作の時期と出来るだけ被らない園芸品目を選定し、農業法人や農業経営中心の方々年間を通して収益を得られるよう栽培方法や卸売先までを具体的に検討している。フキノトウとウルイについては、いよいよ試験販売の段階までできている。協議会の活動は今後農業法人が設立されると、園芸部門に引き継がれる予定で、法人経営の片翼になると考えている。

高桑議員 法人化について、農協を含め多くの方が分からない状況である。このギャップを埋める必要があると思うが、町の認識を伺う。

産業観光課長 明確でない部分があり、外部に対するアプローチが難しかった。PRをして活動

を全面に出していき、協議会に加盟されている方々に相談しながら進めていきたい。また、北営農センター担当者で連絡を取り合っているところで、今後指導をいただく予定である。

三輪議員 町の上、中、下地区を区分して面積はどのくらいか。希望の農地を入れると、土地改良をしていないところもあるが、どうなるのか。

産業観光課長 活動範囲については限定しないが、主になる場所は出てくるだろう。分散していると効率が悪くなるので、土地の状況も含め耕作しやすいなど条件の良いところから引きつけていくと考える。

島議員 ウルイを試食させていただき、みずみずしく美味しかった。パッケージの工夫やレシビの紹介も手に取っていただくには有効な手段と思う。

産業観光課長 今後、協議会の皆さんにも意見をお伝えし、提案したい。

大門町営住宅 建替工事の変更契約

建設課長 設計計上の材料に不足があり、平屋建て220万円、二階建て245万円程度の増額が生じた。工期についても、建築職人の手配がうまくいかず、12月26日まで延長した。

宮下議員・中田議員 民間であれば違約金が発生するような、ペナルティをとつてもおかしくない事案だ。行政だから税金で払えると思われては際限がなくなる。社会的な常識論があることを念頭においてほしい。



建替工事中の大門町営住宅

出まえ議会 2会場で開催

昨年11月14日八手地区農村環境改善センター、11月15日海岸公民館にて、出まえ議会が開催されました。

各会場での質問意見等に対して当日の担当常任委員会の回答、担当課の意見見解を含め、以下のとおり掲載いたします。

八手地区農村環境改善センター

Q 議会サロンを年8回ほど行っているが、参加人数やどういった内容が話されているのか。

A 毎回、数名程度の参加者があり、議会だよりの方に「こういった質問がありました」「こういった回答をしました」と掲載するが、ページ数の都合で今まで載せていなかった。12月定例会後の議会だより（本号）にて、掲載したいと思っている。また、その後の経過を「追跡」な



どの形で議会だよりにおいて報告の機会を増やしたいと考えている。

Q 議員報酬の適正額について、この場で意見を訊くより、個別でアンケートを取った方が良いのではないか。

Q アンケートを取った後にそれを指針にして議員間で話し合い、決めた方が良いのではないか。

A アンケートを取ることについては

良い手段だと考える。

Q 議員報酬の問題についてはなかなか難しい問題だと思う。今までどおりのままで大丈夫というわけにもいなくなってきたと感じる。はつきり決めて、前に進んではいかがか。

A その通りだと思う。会社に勤めていたときに比べれば補償が少ないことも否めない。ただ、我々の報酬は税金からきており、町民の意見をお聞きした中で進めていかなければならないと思う。

Q イノシシによって畑や山肌が荒らされている。土砂崩れなどの不安もあるので、駆除してほしい。

A 町全体でイノシシが増えていたため、厳しい部分もあるが、町には対応してもらおうように伝える。

産業観光課からの回答

イノシシについては、町猟友会に委託し駆除を行っています。猟友会の皆様も可能な限り駆除に努めていただいています。当課としてもできるだけ多くの駆除のため、会員の技術向上研修経費も含め、更なる予



算の確保に向け要望してまいります。

Q 道路に飛び出した樹木の枝に雪が乗り、道路をふさが危険性があるので、町の方で伐採するなりしてほしい。

A 道路運行上、危険があるものについては管理者の責任によって切ることができるとは、原則として地権者の財産であるため勝手に伐採することができない。役場の方で地権者と協議を進めていければと思うので、ご理解いただきたい。

建設課からの回答

基本は所有者の責任で通行に支障とならないように枝払いなどをしていただきますが、道路の建築限界を

侵し著しく通行に支障がある場合は町で対応しております。

Q 役場にお願ひしたことが今どのようになすんでいるのか、中間報告でも駄目だということでも構わないので、見える化してほしい。

A 直接、役場に依頼したことについて、回答がないものについては行政側に話しをして、いただいた意見についてはなるべく返答するように言っていく。

総務課からの回答

町に対して、要望等をいただいた場合は、できるだけ早急に対応するようにしております。しかし、時間を要する場合や対応が困難な場合についても、必ず報告をするようにいたします。



海岸公民館

Q 議員のなり手不足の原因について、どう考えているか。

A 原因は複数あると考えている。報酬は一つの要因であると考えている。また、女性が立候補しやすい環境をつくることも必要。第一に報酬。年金等の社会保障不足。全体的な金銭的サポートの不足。

Q 県内10町村の議会の報酬額について。

A 最高額で聖籠町23万円、最低額が粟島浦村10万9千円。県平均は19万6千4百円。

Q 出雲崎町の議会運営に必要な人員は何人と考えるか。

A 12人程度が妥当と考える。

Q 議員定数を減らして、その分の報酬を議員報酬に上乘せした方が良いと思うが、どうか。

A 議員定数を減らさない理由が2つある。1つは議会運営。もう一つは議員が少なくなれば、執行部を監視する機能が不足するからである。

Q なり手不足において、会社員と兼業できている議員もほかの市にはいる。議員をするのにやめなければならぬと決めつけるのはいかがなものか。議会活動のスケジュールの調整等の環境づくりが必要なのではないか。

A 実際に議員活動との兼業を認めてくれる、理解のある企業というものがまだ少ないように思える。もし、議会や町に興味があり、会社からも許可が出ているという方がいればぜひ出ていただきたい。

Q 現在の報酬で議員活動はできているのか。

A 兼業で自身の事業の利益も加えれば議員活動が十分にできると考えている。現在の報酬だけでは議員活動を満足にできるとは思わない。

Q 佐渡が世界遺産に登録されたことを契機に観光ガイドが非常に良い反響を得ている。今がチャンスだと思うので、色々な企画を考えてほしい。

A 役場内においても課が違うために別々に活動している場合があると認識しているおり、一緒に行動しても

らうことでよりよい方向へ持っていけるよう働きかけていこうと思う。

産業観光課からの回答

来町される皆様から喜んでいただける企画などご提案いただき具体化できればと考えています。様々なご意見をいただきながら一緒に作っていきたいと考えています。

教育課からの回答

佐渡島金山と町の歴史的なつながりを歴史的な価値として小中学生をはじめ町民や地域に発信し、より深い学びと地域愛を育みたいと考えています。



Q 各議員がシンクタンクをつくるなどしてもらい、意見を持ちよって、行動を起こしてほしい。出雲崎町の土地やロケーション、企業誘致やふるさと納税など税収が上がる方法を考えてほしい。議会の皆さんに頑張ってもらって、町の税収を上げること、議員報酬の増につながるというシステムが一番町民が納得できるように思える。

Q ふるさと納税の威力を理解してほしい。

A ふるさと納税の返礼品を開発・提供し、納税額が増えるように動いている。今後は一事業者だけではなく、複数事業者によって新たな返礼品を生み出していくことができないか考えている。

Q ここ最近海岸地区にて空き家や空き地が非常に増え、町の雰囲気がいまいち感じる。具体的にいうと獅子舞は町のひとつの行事として、今後も行っていきたいと考えているが、やっている人たちが高齢化しており、規模も縮小しており、やる気も低下している。改善策として、なか妙案がないものか。出雲崎町を盛り上げるための佐渡島金山を利用

した計画が町としてないのか期待しているのだが、想像でも何でもいいのかで意見を聞かせてもらいたい。

A 町として負のスパイラルに入っていると感じている。獅子舞についても高齢化による人手不足を認識している。その中で、若い力のある方や経験豊富な方に議員になってもらい、活性化を担ってもらうことが第一段階だと思う。活力ある町にするために、議員に立候補してもらいたい。そのためにも議員報酬を上げ、やる気のある人が出てくれるように私も願っている。

Q 「県高齢者・障がい者向け安心すまいる整備補助事業補助金」など、人づてにはいろいろなサービスがあると聞いてはいるのだが、65歳になった時点でどのようなサービスが利用できるのか、更なる周知徹底をしてほしい。

A 65歳になった時点で、利用できるサービスを該当する町民の方々に周知するように、町執行部に伝えたい。

保健福祉課からの回答

今年度中に第9期用の高齢者ガイドブックデジタル版を発行し、令和

7年4月に同ガイドブック概要版を全世帯に配布。高齢者の皆様に広く周知を図ります。

両会場にて

いただいたご意見

○議員報酬は少ないと感じる。私個人としては10万円くらい上げてほしいように思う。物価の高騰等に合わせ、4年に1回くらい見直してはどうか。

○議員の報酬を上げることについては大賛成である。皆さんには頑張っていただきたい。

○今後、103万の壁等で自主財源の確保が難しくなっていく、税収が減っていく中で、議会には今のうちから議論を重ねてほしい。

○議員さんだけでなく、役場職員、町民が集まって、みんなで盛り立てられるような形が作ればよいと考えている。皆さん、やっているとは思いますが、結果が出なければやっていないことと同じ。ぜひ結果が出せるように考えて、やっていただきたい。

総務課からの回答

今、町では様々な事業を行っており、成果を上げるためには、職員以外の方からのご意見・ご協力をいただいているケースもあります。事業の目的を達成するために、最適な方法を考えながら、進めることにしております。

○岐阜県の白川町において『CCNet』がふるさと納税として、遠隔地見守りを行うとニュースになっている。2年前に町に対し、タブレットを使った24時間見守りをこのような会社と手を組み、全国の過疎地のパイロット店となり、行つてはどうかと提案書を出したが、何の返答もない。議員さんに対するレポートにも書いているが、議員さんから何の返答もない。

○観光において視覚と味覚が重要。出雲崎町は世界遺産登録されたわけではないので、それらを凌駕する目玉になるものがないと少し難しいように思える。

※町議会ホームページ「議会の新着情報」にも掲載しています



議員報酬の適正化は どうなるの？

この問題は、現在（令和6年12月「議会だより」作成時点）議会運営委員会において、審議中であり、本誌が町民各位に届くころには、一定の方向性が出ると思います。

それでは、なぜ今この議員報酬等の審議がされているのか？それは次のような理由であります。

近年、全国町村議会において議員のなり手不足が深刻な課題となっています。全国町村議会議長会の調査によれば、令和元年5月～令和5年4月の間で一般選挙が実施された926団体（町村議会）の内、**無投票254団体、定数割れ31団体**という結果が出ており、当議長会は、その原因を幾つか挙げていますが、主なものを見ると

- ① 「低額な議員報酬」
 - ② 「厚生年金への未加入問題」
 - ③ 「休暇・休職・復職制度の未整備」
 - ④ 「議会のデジタル化への促進」
- などが挙げられています。これらは、若者や女性、会社員など多様な人材の議会への参画を意味しているものと受け止めています。
- そこで、②④は制度的な構

築が必要だったり、一般社会の変革を待たねばならなかったりで、当議長会としては、①「低額な議員報酬」の項目にターゲットを絞り「議員報酬の適正化」について、全国の各町村議会に対して検討見直しをしましょうという流れになりました。

出雲崎町議会も御多分に漏れず、「低額な議員報酬」を理由に議員のなり手不足が予想されることから、議員報酬の見直しに着手しているわけです。

出雲崎町議会は、平成の大合併で揺れ動いているとき、単独町政を選択した当町には国からの地方交付税の減額が予想されることを見越して、平成16年4月経費節減の名のもとに議員報酬などを減額改正したまま、20年間にわたり今日まで据え置いています。昨今の物価高騰や職員大卒初任給の引き上げ状況等を考慮すると、町議会議員を取り巻く情勢は大変厳しいものと言わざるを得ません。今後、本誌も議会報特別委員会として、本件について動向を見守りながら随時掲載を予定しています。



町村議会議員研修会（新潟市）

行政視察報告

11/27

長野県

辰野町 たつのまち

出雲崎町議会 副議長

加藤 修三

町の概要

辰野町は、長野県の県央に位置し、上伊那郡（6町村）の北部に位置している。本州の中心を称する町の一つで人口は1万8千人、ゲンジボタルが数多く生息する自然に囲まれた町である。

移住・定住対策と空き家対策について

まず、移住・定住対策として、移住相談を県や広域連合主催の相談会での出展、都内でのマルシェを開き町のPRを行っているとの説明を受けた。長期・短期の移住体験施設とゲストハウスお試し滞在によって、移



住希望者と移住希望先の地区との関係づくりと移住イメージづくりを醸成していた。

これにより、令和5年度には22組が施設、制度を利用、9組が移住し、令和6年度においても研修時点で1名の移住と2組が物件選定中であった。

次に空き家対策として、空き家バンク登録にあたり町が現状を確認した上で地元の不動産業者に情報を伝え担当事業者を選定していた。

これにより、空き家バンクの実績は令和5年度まで273件の登録と199件の成約となっており、成約率は73%と高水準であった。

所見

1日から1年間までニーズにあわせた移住体験を提供することで移住しやすい環境づくり、仲介料支援などが移住に繋がっていることがわかった。

11/28

長野県

みなみのわむら
南箕輪村

町の概要

南箕輪村は、辰野町と同じ上伊那郡の属する県央南部の町で、人口が昭和50年8千人から令和6年12月時点1万6千人へと増えており、将来的にも人口が増加するとの推計がでている。

子育て支援について

子育て支援について、南箕輪村では人口を維持していくことが村の存続につながるものとの考えから、子育てに優しい村として「働く母親が、安心して子供を産み育てられる環境の充実」に重点をおいていた。

生後2か月の赤ちゃんを1日預かっていた温泉施設への招待、食事の提供と育児相談を行いリラクゼーションしてもらう事業、再就職支援事業を行っており、特に再就職においては令和5年度では54人の相談と37人の再就職が決まった。また、就労後のフォローも行っており、成果を挙げている。

子育てのしやすい環境づくりとして、子育てアドバイザーが相談に応

じる「すくすくはうす」や子供や子育てにかかると交流でき、子供相談室や放課後児童クラブを併設した「子供館」、療育のための施設として「たけのこ園」が整備されるなど、制度だけでなく設備面においてもきめ細やかに整備されていることがわかった。



所見

子育て支援にいち早く力を入れ、口コミが広がったこと、土地・上下水道料金が安く、高速道路への接続も良かったことから、住宅支援なしでも若い世代が移住していると感じた。当町においても、今まで以上に子育て支援を発信していかねばならないと考える。

議会サロンで様々な意見をいただきました。

令和6年12月まで

尼瀬1区に防潮堤をつくってほしい。防潮堤ができればいろいろ活用できるのではないか。

交通安全、火の用心の標語は全戸配布しても活用されていない。経費節約の面から見直ししては。

町のHPで良寛牛乳は削除すべき。町のPR動画に映っている女兒の映像が様々なところの宣伝に使われている。町独自の映像の方が良いのでは。

町のPRに工夫が足りない。スポーツの対外試合などに着るユニホームに紙風船をあしらうなど、その費用に補助を出し、PRすることも手法ではないか。

風力発電について、町の認識はいかに。

町道脇ののびた草で通行に危険が伴う。定期的にパトロールして必要に応じて対処してほしい。

地域おこし協力隊が一人も定住していない。その原因を探り、今後活かすべき。

出雲崎大祭の神輿の担ぎ手がない。祭り継続のことを考えると困る。

議員のなり手不足について、若い世代からも立候補できるように報酬を引き上げてはどうか。

議会サロン今後の予定

開催日	場 所	時間	担当議員	
2月22日(土)	ホッと情報館 陽だまり	午前10時 ～正午	三輪 正	小林 玲子

※3月の議会サロンは3月定例会があるため、開催しません。
次回開催日は後日お知らせいたします。

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催しています。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。



みんなの声

放課後こども教室
“寺子屋”で町のこどもたちに
勉強を教えています！

尼瀬

ささき
佐々木

ゆうや
宥哉さん

インタビュー
しました！



出雲崎の好きなところや 「あったらいいな」と思うものはありますか

景色が好きです。特に海岸に沈む夕日を見るのが好きで、大学の帰りに車を停めて写真を撮ることもあります。

海岸地域はお店も少なく、夜になるととても暗いです。コンビニやドラッグストアがあると、利便性も向上すると思います。

寺子屋教室で講師をされていかがですか

児童に教えると同時に、自分自身にとっても学びの場になっています。小学生の感性は新鮮で、彼らの視点から物事を感じることで、新しい発見がたくさんあり、とても面白いです。

若い方が選挙に関心をもつためのアイデアを教えてください

若者が集まりやすい場所に投票所を設置することはいかがでしょう。大学やショッピングモールなど、若者が頻繁に訪れる場所に臨時の投票所を設けることで、選挙へのハードルが下がり、政治をより身近に感じることができると思います。また、オンライン投票など選択肢が増えれば、場所や時間の制約がなくなるため、投票率向上につながるのではないかと期待しています。

昨年は成人の祝いでしたね！ 同級生にメッセージをお願いします

中学卒業以来、会うことができなかった友人や担任の先生と話すことができて嬉しかったです。またみんなで集まりたいという気持ちが強くなりました。会えなかった同級生にも会いたいです。また都合が合う時に、ぜひ出雲崎で会いましょう！ただ、次の幹事は誰かしてください…

表紙の小話

まゆ玉飾り

北国街道妻入り会館で、小正月恒例のまゆ玉飾りが行なわれました。立派な枝振りのミズキに、子どもたちと一緒に赤・白・緑の餅をつけ、縁起物の鯛や小判などに加え、出雲崎らしく紙風船が飾られています。

危険のないよう、数人が力を合わせて天井にしっかりと結わえて吊るし、部屋いっぱいになり、春らしいまゆ玉が広がっています。これから妻入り会館では、天神様、雛飾りつるし雛の展示が続く、4月中旬まで華やかに楽しませてくれます。

毎号、表紙にはいくつか候補になる写真を撮りますが、冬休み最後の週末、きらりの様子もご紹介します。天候もあって、多くの親子連れで賑わいました。一緒に「だるまさんが転んだ」をして体を動かし、たっぷり遊んで子どもたちは大満足でした。



冬休み最後の「きらり」での週末

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

昨年1月1日の能登半島地震から1年が過ぎました。とんでもない幕開けになりましたが、今年は穏やかな年明けのようです。

さて、今回本誌に掲載しました、議員の報酬の適正化記事をお読みいただきましたでしょうか。

議会として、約20年ぶりに議員報酬等の見直しに着手しております。詳細は本誌21ページをご覧ください。

今年は、巳年ということで、何かとお金に縁があるといわれていますが、また一方では蛇は脱皮を繰り返して大きくなるとも言われています。皆様にとって、今年一年が飛躍の年になり、輝かしい年になりますようお祈り申し上げます。

(石川 豊)

議会報特別委員会

委員長 石川 豊
副委員長 高桑 佳子
委員 島明日香
委員 小林 玲子
委員 中田 孝信